

令和5年度 兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会事業報告（案）

1 総会の開催

開催日：令和6年3月18日（アオアヲナルトリゾート）

概要：・兵庫県の取組（自然分野）の報告

報告者 兵庫県淡路県民局交流渦潮室 山内室長

・徳島県の取組（文化分野）の報告

報告者 徳島県文化資源活用課 岡本課長補佐

・海外連携調査に係る現地調査報告

報告者 鳴門海峡の渦潮世界遺産登録学術調査委員会 学術委員

上嶋 英機（広島工業大学 客員教授）

・今後の世界遺産登録の方向性（登録に向けたアプローチ）の検討状況の報告



協議会総会

2 幹事会の開催

(1) 第1回幹事会

開催日：令和5年7月10日（鳴門市うずしお会館）

概要：令和4年度事業の報告を行うとともに、令和4年度収支決算、令和5年度事業計画及び収支予算の決定を行った。

(2) 第2回幹事会

開催日：令和6年2月6日（兵庫県洲本総合庁舎）

概要：令和5年度事業の進捗状況報告を行うとともに、令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）、協議会総会の実施内容等について検討を行った。

3 世界遺産登録に向けた学術調査

(1) 世界文化遺産登録に向けた学術調査

○第1回「鳴門の渦潮」調査合同研究会（令和5年7月1日・2日）

「淡路島の分間絵図」調査研究の方向性等について討論した。委員による洲本市立淡路文化史料館所蔵資料の熟覧・調査を実施した。

○第2回「鳴門の渦潮」調査合同研究会（令和5年12月2日・3日）

委員による「分間絵図」と「名所図会」に関わる現地調査を実施した。研究会では、近世絵図や地図情報に関する研究報告を基にした意見交換を実施した。

○第3回「鳴門の渦潮」調査合同研究会（令和6年3月30日・31日）

委員による「分間絵図」と「名所図会」に関わる現地調査を実施した。研究会では、調査中間報告及び報告書刊行に向けて意見交換を実施した。

○「鳴門の渦潮」世界遺産登録学術調査委員会（令和5年12月3日）

令和5年度の文化的調査について進捗状況を報告するとともに、令和6年度の調査内容等について協議を行った。

【調査内容】

「淡路国分間絵図」を基にした歴史地理学的手法による「鳴門の渦潮」と淡路島の「文化的景観」についての調査・研究を実施

(2) 世界自然遺産登録に向けた学術調査

○第10回鳴門海峡の渦潮世界遺産登録学術調査委員会（令和5年7月26日）

令和4年度の学術調査結果について報告するとともに、令和5年度の調査内容について検討を行った。

○第11回鳴門海峡の渦潮世界遺産登録学術調査委員会（令和6年2月15日）

令和5年度の学術調査結果について報告するとともに、今後の学術調査の方向性について検討を行った。

【調査内容】

① 鳴門海峡の渦潮地形成立過程、地史に関する調査及び分析

約6～8千年前の縄文海進最盛期における相対的海水準を明らかにし、鳴門海峡周辺域における相対的海水準の上昇速度を算出して大規模な渦潮の発生時期をより高精度で推定することを目的に、人力でのボーリング掘削による調査を実施した。

② 景観に関する調査及び分析

近代の鳴門海峡の絵葉書を対象として、絵葉書に写し出された鳴門海峡の景観を分析し、近代に価値が見出された景観の変化を明らかにするとともに、変容した視点場の整備や維持管理等保護のあり方を考察した。

③ 海外類似資産調査

ア ノルウェーとの連携

令和5年9月にノルウェーへ渡航し、サルトストラウメン海峡の渦潮の現地調査等を実施。サルトストラウメン海峡の渦潮のドローン撮影・定点撮影に加え、ノード大学の研究者や現地行政関係者と世界遺産申請に向けての情報共有及び意思確認を行った。

ノード大学の協力のもと、詳細な海底地形データを取得し、海底地形の3D化を行い、渦潮の発生機構について解析を実施した。

イ スコットランドとの連携

令和5年10月にスコットランドへ渡航し、コリーヴレックカン海峡の渦潮の現地調査等を実施。コリーヴレックカン海峡の渦潮の現地観測に加え、スコットランドの研究機関であるSAMS（スコットランド海洋科学協会）の研究者と世界遺産申請に向けての情報共有及び意思確認を行った。

④ 世界遺産登録に向けた新たなアプローチの研究調査

ア 世界遺産登録基準(vii)と(viii)の両方を満たした世界自然遺産に関する研究

(vii)自然現象・自然美と(viii)地形地質の両方の基準を満たした53件の世界自然遺産、8件の複合遺産のうち、2つの基準のみで登録された29件を中心に、世界自然遺産登録にあたり、2つの基準の組み合わせをどのように活用するのがよいか調査を実施した。

- イ 世界遺産登録基準(vii)と(viii)の基準を満たした文化的景観に関する研究
文化的景観として登録されている世界遺産のうち、(vii)自然現象・自然美の基準も満たした7件、(viii)地形地質の基準も満たした4件について調査し、新たなアプローチとして文化的景観を活用する可能性について検討を実施した。
- ウ 「鳴門海峡の渦潮」を文化遺産あるいは自然と文化の複合遺産として推薦する可能性について、自然と文化の両面に知見を有する専門家にヒアリングを実施した。

4 今後の世界遺産登録の方向性(登録に向けたアプローチ)の検討(徳島・兵庫県合同)

有識者等を委員とする「兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録検討会議」を令和5年9月29日付で設置し、今後の世界遺産登録の方向性の検討を進めた。

第1回検討会議

- (1)開催日：令和6年1月23日
- (2)場 所：神戸市内
- (3)内 容：学術調査の現状分析と評価